



2025年6月の
法改正で熱中症
対策が義務化！

その熱中症対策、 本当に従業員を 守れていますか？



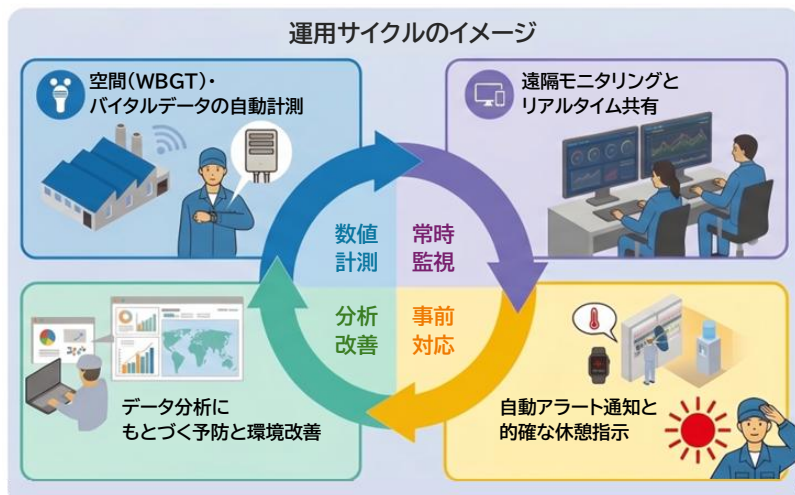
自己申告に頼り、自覚症状前の発見が難しい・・・

過剰な休憩が生じることで生産性低下が心配・・・

熱中症対策が義務化された今、現場の安定稼働を維持するためにも、
従業員の安全管理は極めて重要です。

「熱中症対策DX」は、**生産性の維持と安全管理**を実現します！

○「熱中症対策DX」の活用イメージと用途に応じたソリューション



～従業員が安心して働ける「止まらない現場」作りをご支援します～

本パッケージの特徴

- **自動収集:** WBGT値とバイタルデータの自動収集で安全管理を実現
特定の個人や場所におけるリスクを多角的かつリアルタイムで把握し、死角のない見守りを実現します。
- **自動検知:** 収集データの可視化と閾値アラートで異常を早期発見
人が気付にくい場所や状態においても自動で検知し、迅速な対応で現場の安全管理を推進します。
- **環境改善:** 過去データを分析し、原因特定と長期改善策の策定を支援
根拠に基づく継続的な環境改善で、従業員の安心と安全な現場づくりを支援します。

2020年の販売より

50拠点

以上の企業・工場でご利用頂いています

主な機能と画面イメージ

各種センシング機能

多彩なセンサーで環境とバイタルを自動収集し、現場の目的に応じた最適な熱中症対策を実現します。



WBGT計測 温湿度計測 バイタル計測

モニター表示機能

現場へ暑さ指数(WBGT)を表示し、従業員自身による迅速なリスク把握と安全管理をサポートします。



バイタル監視画面

バイタルデータや万が一の転倒をリアルタイムに把握し、従業員の安全を迅速に守ります。



遠隔監視機能

収集データをもとに現場を遠隔監視し、異常検知時はリアルタイムに管理者へアラートを通知します。



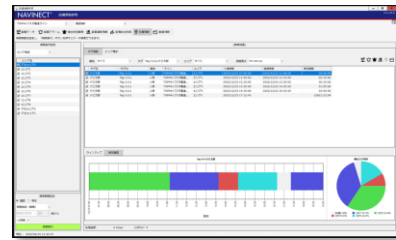
暑さ指数監視画面

暑さ指数の推移を計測日時と共にグラフ化し、リスクの変動をひと目で把握できます。



分析・レポート画面

蓄積データの傾向分析により、熱中症を未然に防ぎ、根本的な環境改善をサポートします。



パッケージ価格

区分	項目	空間の可視化	個人の可視化
初期費	ハードウェア機器	600,000円～※1	75,000円～※2
	初期構築費	43,000円～	400,000円～
	計	643,000円～	475,000円～
ランニング費	月額利用費	35,000円～/月	100,000円～/月
	計	35,000円～/月	100,000円～/月

※1:マルチセンサー 5台(温湿度・CO2測定可/WBGT未認証機器)、通信基地局1台構成の費用となります。

※2:バイタルセンサー 1台、受信機 1台構成の費用となります。

※3:「空間の可視化」「個人の可視化」ともに、ご利用には別途通信費が必要となります。



無線センサーで現場の暑さ指数(WBGT)を自動計測・遠隔監視し、法令対応と安心の空間づくりを支えます。



ウェアラブルで従業員のバイタルや点等を常時把握し、自覚症状前の異変を検知して命と現場を守ります。

お問い合わせ・ご質問等は下記までお気軽にご連絡下さい

すべてを突破する。
TOPPA!!!
TOPPAN